

令和8年度東京都立第五商業高等学校経営計画（定時制課程）

Ⅰ 目指す学校像…『国立に五商あり 人づくり夢づくりの商業高校（まなびや）』

（１）教育目標	（２）スクール・ミッション
本校の教育目標を「社会を支える一員であることの自覚のもとに、望ましい勤労観・職業観を養い、情操豊かで創造性に富む人間の育成」とし、次のような学校を目指していく。 ①知性と感性に富む創造力豊かな人間を育てる。 ②明朗にしてたくましい心豊かな人間を育てる。 ③平和を愛し、国際社会に貢献できる人間を育てる。	「社会を支える一員である自覚のもと、望ましい職業観を養い、情操豊かで創造性に富む人材の育成」を教育目標とし、資格取得にとどまらず、確かな教養を身に付け、将来起こる様々な課題に自主的に取り組み、挑戦していく人材を育成します。

Ⅱ 中期的目標と方策（３年後から５年後の第五商業）…「資格取得と探究的な学びとデジタルの活用でSociety5.0時代に活躍する人材の育成」

（１）【目標】学力向上、資格取得の推進

- ① 少人数制指導等の授業形態を工夫するとともに、主体的・対話的で深い学びによる指導と評価を研究開発して、組織的な授業改善・充実化を図り質の高い学習指導を実現する。
- ② タブレットパソコンなどＩＣＴ機器を活用した授業を展開する。
- ③ 資格取得を通して、ビジネスに必要な資質・能力の向上を図るとともに、大学進学の手立てとする。
- ④ 外国語教育と国語教育、読書活動、言語活動の充実を図る。

（２）【目標】進路実績・生活・心身の健康・体力の向上

- ① 全教育活動を通して総合的な人格形成、人づくりを行って、生徒の進路希望を高いレベルで実現させる。
- ② 「人間と社会」の体験学習を通して、奉仕や道徳、勤労観・職業観の精神を涵養するとともに、意図的、計画的、系統的なキャリア教育を進める。
- ③ 都の生活指導指針のもと、規範意識の向上、基本的な生活習慣の確立、マナー教育の充実努める。
- ④ スクールカウンセラーと連携を図るとともに、特別支援教育についての校内体制を構築して、本校の教育相談機能の更なる向上を図る。
- ⑤ 生徒の心身の健康・体力の向上を図るとともに、強い心をはぐくむ。
- ⑥ よりよい校内環境の創造のため、安全面や校内組織体制を整備する。

（３）【目標】特別活動等の充実化

- ① 日本の伝統・文化、スポーツ、国際交流、国際理解教育を推進する。
- ② 学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等を活性化するとともに、体罰やいじめを根絶する。
- ③ 小・中学校や大学、地域との交流や連携を一層推進する。

（４）【目標】地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学

- ① 保護者会や三者面談など、家庭との連携を図り、学習、生活、進路等についての情報を共有し、共に解決に向けて努力を続けていく。
- ② 授業や特別活動、防災教育等により、地域貢献を果たし、生徒の自己有用感・達成感を高め、社会の一員としての自覚をはぐくむ。
- ③ 積極的な情報発信に努め、本校の果たす役割と意義について地域社会への浸透を図る。
- ④ 中学生や保護者の商業高校に対するニーズを把握し、学校広報活動を充実させる。

（５）【目標】学校経営の適正化

- ① ＰＤＣＡサイクルを定着させ、学校経営の適正化のため、組織の改善・充実化に努める。
- ② 自律経営推進予算を効果的に活用し、教育効果を最大限に上げる。
- ③ 教職員の有する教育力を最大限に発揮できるよう、働き方改革、ライフ・ワーク・バランスを推進して、校内環境の整備と健康管理に努める。
- ④ 生徒の安全管理、防災対策の充実化を図る。

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

（Ⅰ）学習指導（生徒と教員による授業の創造と資格取得の推進）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①学力の向上	①-1 学習指導要領に則した年間授業計画と年間評価計画に基づいた授業を行う。 ①-2 基礎学力の向上に取り組むとともに、「考えさせる授業」を行う。 ①-3 「主体的・対話的で深い学び」や「個別最適化と協働的な学び」を実現する授業を行う。 ①-4 学習課題などを工夫し、家庭学習の推進など自学自習の定着の指導を行う。	生徒による授業評価 熱心に指導してくれる先生が多い 80%以上
②指導力の向上	②-1 多様な生徒に対応するため、少人数制授業や習熟度別授業により、「わかる」授業を行う。 ②-2 観点別学習状況の評価に基づく指導と評価の一体化により授業改善を行う。 ②-3 授業公開や研究授業、その他の機会を捉え、教員の相互授業参観を行う。 ②-4 ＩＣＴ機器や統合型学習支援サービス、定期考査採点・分析システムを活用する。 ②-5 「令和の日本型教育」を進めるために必要なファシリテーション等の研修をする。	資格取得に興味や価値を感じている 80%以上
③資格取得の推進	③-1 資格取得に向け、当該教科が組織的、計画的に指導の強化に努める。 ③-2 年度当初の目標設定や合格者の発表などモチベーションの維持に努める。 ③-3 個別指導や少人数制授業により、生徒の力を一層引き出すことに努める。	生徒による授業評価 研究授業 各学期実施 年3回以上
④図書館の利活用の推進	④-1 図書館運営委員会や図書委員会による読書活動の推進により読書率の向上を図る。 ④-2 資格取得や探究学習、進路活動などに必要な情報センターとして整備し利活用する。 ④-3 授業に活用できる蔵書の充実を図り、授業での利活用を促進する。	日商簿記検定3級 5名 全経簿記検定3級 10名 情報処理系の検定1級 10名
		各教科の図書館利活用 各学期1回以上

（Ⅱ）進路指導（キャリア教育の充実と進路実績の向上）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①キャリア教育の充実	①-1 キャリア教育の全体計画に基づき、生徒の進路実現に向けて全教員で進路指導を行う。 ①-2 「人間と社会」での体験学習をとおして、意図的、計画的、系統的なキャリア教育を行う。 ①-3 進路実現と進路先での活躍のため、4年間を見通した基礎学力向上と言語活動の充実を図る。	進路希望達成率 90% 進路説明会 年1回以上 進路講演会 年1回以上
②連携と情報の共有	②-1 校内研修や情報交換会を実施して全教員の指導体制を構築する。 ②-2 学校全体で生徒の夢・希望・感動との出会いや自己実現に向かう意欲や態度を育成する。 ②-3 企業や地域等と連携し、進路指導に関わる体験学習や各種セミナーを実施する。	進路指導満足度 80%以上 進学情報交換会の実施 進路のための二者または三者面談の実施

（裏面へ）

（３）生活指導（基本的生活習慣の確立と規範意識の向上）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①生活指導の徹底	①-1 あいさつをはじめ、基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上、マナー教育の充実に努める。 ①-2 生徒一人一人が他者との円滑なコミュニケーションを図ることができる力の育成に努める。 ①-3 学校行事や特別活動をととして、生徒が主体的に取り組む工夫を図る。	登校指導 毎日（輪番） セーフティ教室等実施回数 4回以上 問題行動・自転車事故 0件
②生命・人権尊重教育の推進	②-1 授業や特別活動を通して自己肯定感を高め、生命尊重と思いやりの心を育む指導をする。 ②-2 防災訓練等による防災意識の醸成とともに、セーフティ教室等により安全意識を養う。	ＳＣによる講演会 年1回 ＳＯＳの出し方教室 年1回
③美化意識の向上	③-1 校内の環境整備に努め、落ち着きと緊張感ある学習環境を構築する。 ③-2 清掃活動を徹底し、自ら学ぶ場所を整えることで主体的に学ぶ姿勢と美化意識の向上を図る。	

（４）特別活動・部活動（学校行事や生徒会活動によるリーダー養成）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①魅力ある学校行事	①-1 生徒が主体的・意欲的に参加する魅力ある学校行事等となるよう工夫・改善に努める。 ①-2 生徒会、委員会の意義と活動計画、役割を明確にするとともに、リーダーの養成に力を入れる。	生徒の学校行事満足度 90％以上
②部活動の活性化	②-1 部活動への加入の奨励し、各種競技会への参加と上位入賞を目指す。 ②-2 顧問同士連携や部活動指導員等の活用により生徒の育成を図るとともに、働き方改革に努める。	部活動加入率 90％以上
③国際理解教育とボランティア精神の育成	③-1 ＡＬＴ等の協力を得ながら、国際理解とグローバル社会で活躍できる資質・能力を育成する。 ③-2 ボランティア活動や地域清掃活動等をととして、ボランティア精神を育成する。	奉仕体験活動等参加 年2回以上
④主権者教育の推進	④-1 主権者教育により社会の一員としての自覚を促すとともに、社会的な問題への判断力を高める。 ④-2 学校行事や生徒会活動等をととして、自治活動を推進しリーダーを育成する。	

（５）健康づくり（心身の健康づくりと体力の向上）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①心の教育の推進	①-1 総合的な人格形成、人づくりを行い、生徒の目標を高いレベルで実現させる。 ①-2 教育相談の充実と関係者間の連携を強化し、生徒の心のケアを早期に行う体制を確立する。 ①-3 全教員が特別支援教育を理解し、組織的に生徒個々に適した指導を行う。	特別支援教育研修会 3回以上 特別支援委員会 5回
②体力向上の推進	②-1 体育活動を通じて補強運動を行うなど基礎体力向上を図り、事故防止と健康増進に努める。 ②-2 体力テスト等を活用した体力の向上と生涯にわたって運動に親しむ態度を育てる。	体力テスト前年度より 5％増 健康診断受診率 100％
③保健・健康教育の推進	③-1 学校保健計画を基盤に、養護教諭や関係機関と連携し、生徒の健康づくりを促進する。 ③-2 食育や健康管理の全体計画を作成し、組織的な指導体制で実施、生徒委員会活動を活性化する。 ③-3 生徒が自ら健康を意識し、疾病予防や健康管理に努める態度を育成する。	学校医（産婦人科医等）講演会 1回
④教職員の健康維持管理とライフ・ワーク・バランスの推進	④-1 心理的安全性の確保に努めるとともに、定期健康診断の受診など教職員の健康管理を支援する。 ④-2 働き方改革やライフ・ワーク・バランスを推進し、業務軽減に向けた工夫・改善を行う。 ④-3 定期考査採点・分析システムを活用し、採点業務の負担軽減を図る。	教職員定期健康診断 全員 週1度定時退庁設定 全員

（６）募集・広報活動（地域や家庭との連携強化、目的意識や学力の高い生徒の入学）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①募集・広報活動の充実	①-1 学校案内やチラシを工夫するなど、学校広報活動の充実化を図る。 ①-2 全教員で役割分担するなど学校広報活動は本校の魅力を直接伝える活動を推進する。	学校説明会参加者数 延べ20人以上
②学校情報の発信	②-1 ホームページの適時更新を行い、学校の様子を積極的に発信して学校広報活動を推進する。 ②-2 保護者会や三者面談を通じ、家庭との情報交換を緊密にする。	ホームページの更新 週1回以上 保護者会の開催 年2回
③開かれた学校の推進	③-1 ボランティア活動や地域清掃活動を通じて地域連携を深め、地域貢献に努める。 ③-2 学校運営協議員の意見や学校評価アンケートの地域等の意見の活用して工夫・改善に努める。	ボランティア活動等 年2回以上 学校評価アンケート地域回収率20％以上

（７）学校運営・組織体制（経営参画の推進、DXと働き方改革の推進）

取組目標	方策	重点（数値）目標と方策など
①学校運営の組織力を強化した	①-1 学校経営への積極的な参画を促進し、課題解決を推進する。 ①-2 校務分掌や教科の中間報告や年間総括に基づいた課題解決に取り組む。 ①-3 自律経営推進予算の効果的な編成・実施・管理に努める。 ①-4 経営企画室の経営参画を一層推進し、課題解決に向けた学校運営の中核としての役割を果たす。 ①-5 特別支援教育について、全教員による組織的な取組を進める。	学校評価アンケート回収率 生徒95％以上、保護者95％以上、 地域住民20％以上、教職員100％
②校内DXと働き方改革の推進	②-1 組織的にDXを進め、校務の効率化と教育内容の充実を図る。 ②-2 超過勤務の把握、環境整備、健康管理に取り組むとともに、DXなど働き方改革を推進する。	生徒の学校満足度 80％以上 生徒の学校行事満足度 70％以上 ケース会議（企画調整会議内）週1回 服務事故 0件
③喫緊の課題への対応	③-1 教育課程の点検と見直し。 ③-2 「令和の日本型教育」への対応など教授方法の点検と見直し。 ③-3 観点別学習状況の評価の点検と見直し。 ③-4 生活指導の点検と見直し。 ③-5 進路指導の点検と見直し。 ③-6 特別支援教育の点検と見直し。 ③-7 学校広報活動の点検と見直し。 ③-9 職場環境など働き方の点検と見直し。	※「③喫緊の課題への対応」については、 今年度の12月末を目途に、各分掌や 教科において、「生徒第一」と「働き方 改革」の視点からスクラップ・アンド・ ビルドを徹底し、効率化を図りながら、 第五商業としての教育活動の充実のため 点検と見直しを行う。

以 上